

平成二十八年熊本地震復興祈願詞

生神金光大神様、 天地金乃神様。 (先唱者)

生神金光大神様、 天地金乃神様。

東日本大震災より五年、

復興への道半ばの平成二十八年四月十四日、さらに十六日、

熊本県益城地方を震源とする未曾有の地震が発生し、

大地は裂け、山は崩れ、多くの建物が倒壊しました。

幾多の命が失われ、静かな町並みは瓦礫の山と化しました。

心に傷を負った被災者は、

今なお厳しい生活を送っております。

生神金光大神様、 天地金乃神様。

人智を越えた天地の営みの中、

生かされて生きる私たちは、

親神様の御徳にすぎり、

心尽くして祈ります。

犠牲となられし霊の安心を。

真心込めて願います。

傷つきし人々の立ち行きを。

「人が人を助けるのが人間」との御教えのままに、

復興へのお役に立たせてください。

生神金光大神様、 天地金乃神様。

生神金光大神様、 天地金乃神様。